

【別紙１５】 図書館情報システム及びＩＣタグについて

１ 東根市さくらんぼ図書館情報システムについて

東根市さくらんぼ図書館で使用している図書館情報システム（以下「システム」という。）は、日本電気株式会社「L i C S－R e（リックス・アールイー）V e r s i o n 3．0．0」である。

新しい図書館でのシステムは、選定事業者の提案による。

２ 提案条件

(1) 新しい図書館に導入するシステムについては、クラウド型サーバーを使用し、５年の更新を目途としたリース契約等の形態により選定事業者が整備を行う。

市は、システムを整備する際に必要となる協力を行う。

選定事業者は、開業準備期間中に各システム端末等の設置展開作業を行い、本施設引渡し日までに完了させる。

(2) 新しい図書館に導入するシステムには、ネットワークにつながる業務用端末及び利用者用端末（O P A C 及びインターネット端末）、自動貸出用端末を含むものとし、全体構成及び設置台数・場所については、選定事業者の提案とする。

(3) 新しい図書館で整備する図書館資料は、２０万冊を将来目標とする。

なお、開館当初の図書館資料は、さくらんぼ図書館から新図書館へ移管する約４万冊と選定事業者が調達する約８万冊の合計１２万冊を想定している。

選定事業者は、事業期間を通じ新しい図書館に購入する図書館資料に、選定事業者が調達するＩＣタグを貼付する。

原則として、選定事業者は、さくらんぼ図書館から移管する約４万冊の資料についてもＩＣタグを貼付する。

(4) 選定事業者は、下記の目的を達成するため、ＩＣタグ関連機器等を用意し、システム上の動作確認や接続に伴うシステム調整等、ＩＣタグ等の導入や運用に必要な業務を実施する。

１) カウンター業務の効率化及び利用者プライバシーへの配慮

２) 図書館資料の貸出手続の未了防止

３) 図書館資料の点検効率化

(5) 導入するシステムにおいては、インターネットからの貸出予約に対応する。

(6) 選定事業者は、定期的な保守・管理（適正なデータのバックアップを含む。）を行う。

(7) 動作確認（動作保証）については、システムベンダーに確認のうえ、安定的に稼動する機器等を用意する。

(8) その他の事項について疑義が生じた場合は、市及び選定事業者双方で協議するものとする。

3 端末の種類について

(1) 図書館情報端末（職員用）

図書館職員が専用で使用する端末とし、主な機能として蔵書管理機能（貸出・返却・検索・予約等）、利用者管理機能（登録・削除等）を有する。

(2) 図書館情報端末（利用者用）

一般利用者が専用で使用する端末とし、蔵書検索・貸出予約、OPAC機能等を有する。
図書館利用者が自由に利用できるように配置する。

(3) インターネット用端末（利用者用）

一般利用者が専用で使用する端末とし、外部インターネットに接続できる機能を有する。インターネットコーナーに5台程度を設置、若しくはカウンターから貸し出す。

4 図書館内におけるインターネット接続について

(1) 開架・閲覧エリア

無線LAN環境を整備し、カウンターから貸し出したタブレット型端末を利用して、館内のどこでも電子書籍の閲覧やインターネット閲覧ができるようにする。

(2) インターネットコーナー

パソコンによるインターネットの閲覧が可能な席を5席程度確保し、うち1台は、ライセンスが必要なサイトや過去の新聞記事などのデータベース閲覧を可能とすること。

備え付けのパソコンによらず、利用者が持参したパソコンでもインターネットを利用できるよう、無線LAN環境の設備と電源を備える。

(3) 学習室

利用者が持参したパソコンでの学習にも対応できるよう、無線LAN環境と電源を整備する。
設置個所数は、学習席約50席のうち約10席とする。